

株式会社 山路フードシステム



経営理念
安全・健康・美味・信頼
真心と愛情で
味を究めて幸せづくり

【企業概要】創業:1975年4月 代表者名:代表取締役 松井 大輔
【所在地】相模原市南区大野台4-1-48(キッチンファクトリー相模原)
【URL】<http://www.yamaji.co.jp/>

1975年4月、自宅を改造し、小さな仕出し弁当店からスタート。事業所向け仕出し弁当・社員食堂運営・小中学校給食受託・幼稚園、保育園給食受託を中心に事業を展開。相模原市をはじめ神奈川県内で1日約23,000食を製造、配送を行っています。

「食に携わる企業」として、仕出し弁当事業のほか、鶏卵の加工卸・販売を行う「ふくたま家」、グループ会社の有限会社山路フードでは、東京、神奈川に7業態10店舗の飲食店運営も行っています。



卵製品の加工販売事業「ふくたま屋」

和牛の希少部位が味わえる焼肉店「肉ゆるり」



地鶏ブランドの立ち上げと課題

2019年秋から相模原市緑区にある「山路ファーム」で神奈川県初の地鶏ブランド「丹沢滋黒軍鶏(たんざわじぐろしゃも)」の養鶏を開始。

新規事業として、地鶏の生産から製品加工、直営カフェの運営、販売まで行う「6次産業化」への挑戦をしています。

「丹沢滋黒軍鶏」はまだブランドを立ち上げて3年。立ち上げたばかりの「丹沢滋黒軍鶏」は知名度がなく販路拡大をするのにとても苦労をしていました。また卸先の、飲食店やホテルなどが新型コロナウイルスにより縮小や休業などで卸売上が大きく落ち、窮地に立たされました。そして生き物を扱う事業のため在庫は増える一方…。新たな販路の拡大と「丹沢滋黒軍鶏」のブランド認知が我が社の課題となっており、相模原市産業振興財団に相談をしました。販路拡大と「丹沢滋黒軍鶏」のブランド認知を図るため、相模原市産業振興財団から様々な企業様、団体様のご紹介を頂きました。

コロナ禍で在庫を抱える状況に陥った我が社ですが、特にムネ肉・ササミ肉の在庫が多く自社での商品開発や新たな販路の拡大のためにお声がけを頂きました。

低い知名度

コロナ禍

増える在庫

元々持っていた強みを生かした
支援を財団が行いました



「冷凍し解凍」してもおいしい鶏肉が味わえる

給食・弁当事業で培った冷凍技術「リキッドフリーザー」を活用し、冷凍しても肉の細胞を破壊せず、うま味を落とすドリップを出ない製品という「強み」を活かした販路拡大を図っていきたい。

そこで、

市内キャンプ場とのマッチングを実施しました

キャンプなどの凝った調理が難しい環境でも、保冷バックなどに入れてゆっくりと解凍をしながら持って行けば、現地で温めるだけで、簡単にプ口的味を再現できます。

そこで、市内キャンプ場をご紹介します。

キャンプ場では、インスタグラマーと「キャンプ場×丹沢滋黒軍鶏」の情報発信を行い、キャンパー層へ顧客層が広がりました。



神奈川初の地鶏ブランド「丹沢滋黒軍鶏」の 6次産業化へ！

神奈川初の地鶏ブランド「丹沢滋黒軍鶏」を立ち上げて3年。知名度がまだなく販路拡大をするのにとっても苦勞をしています。まずは「相模原」から認知度のアップを図りたい。

そこで、

「さがみはらアンテナショップsagamix」への出展の案内をしました

まずは生産地である「相模原市」から「丹沢滋黒軍鶏」の魅力の配信をするべく、「さがみはらアンテナショップSAGAMIX」への出展の提案をしました。出展の提案をきっかけに、店頭販売で気軽に手に取る製品ラインナップが不足しているという「気づき」につながり、新製品の開発のきっかけとなりました。



引用：相模原市観光協会HP

まだまだ支援をしました！



「SDGsの取り組み」を活かす！

割りばしの使用を減らす「**マイ箸の推進**」やAIを活用した需要予測(天候、過去の実績等)で仕出し弁当の食品ロス率0.5%を達成するなど、「積極的なSDGsの取り組み」を行っていました。

そこで、

この取り組みの対外的なアピールとして「さがみはらSDGsパートナー制度」の活用を提案しました。同制度への登録を通じて、相模原市役所の担当者との連携も始まり、活動が広がったんです。



無添加で良質な食材の提供を行っている

コロナ禍で在庫過多になっていたムネやササミの販路に困っていましたが、脂質が低く、たんぱく質が多い部位のため、「身体作り」をしているユーザーにニーズがあるのではないかと考えました。

そこで、



市内にあるフィットネスジムを紹介
フィットネスジムでは、身体づくりに「高たんぱく・低脂肪」な食材の摂取を推奨しています。
そのようなコンセプトとマッチして、プレゼントキャンペーンに「丹沢滋黒軍鶏 ムネ・ササミセット」・「丹沢滋黒軍鶏 水炊きセット」を使用していただきました。

企業担当者からのコメント

相模原市産業振興財団から、訪問による支援をはじめ、相模原市の制度や様々な企業・団体を、間に入り実際に引き合わせをして頂きました。

今後のご支援を頂きながら、まずは「相模原」からそして「全国ブランド」へ「丹沢滋黒軍鶏」の認知活動を行って行きます。

